

令和5年度 事業報告

概要

「地域社会と共に歩むシルバー人材センターを目指して」を掲げて、令和5年度においても様々な事業を展開してきました。特に懸案となっていました「消費税インボイス制度」の施行や、「フリーランス新法」の制定などへの対応、人手不足分野での就業開拓や技能取得、地域実情に即したニーズへの対応など、地域社会の課題の担い手としてさらに存在意識を高めるため取り組んできました。

事業実績としては、令和6年3月末の会員数は737人（前年度同期744人）、契約金額は368,127,816円（前年度同期371,469,292円）と、若干前年度を下回ったもののほぼ計画どおりの結果となりました。これらは市民の皆様や各事業所のご理解、市をはじめとする関係団体のご協力をいただいたおかげと感謝いたしております。

令和5年度事業計画に基づく結果については次のとおりです。

記

1 活力ある組織の確立

(1) 公益社団法人としての確な組織運営、財政運営の確立(インボイス制度への対応)

「インボイス制度」への対応については市の協力のもと財政運営の見通しを立てるとともに、「フリーランス新法」制定への対応として、契約方法の見直しへ向けた準備作業を行った。

(2) 経営にあたる役員(理事等)の意識高揚の拡大

役員へは、センターの運営状況を理事会及び会報等により定期的に報告するとともに、各専門部会、委員会の会議等にて、経営状況やこれまでの経過、各部門の課題等を共有し意識を高めた。

(3) 地域(地区・班)における会員相互の連携による活動の推進

- ・センター情報誌等を地域班を通じ定期的に配布し、地域の連携を深めた。
- ・地区別班長会を実施し、センターの課題や地域ボランティア活動等について意見交換を行うとともに、地域ボランティア活動を通じて会員相互の交流を図った。

(4) 職群班における共働・共助の意識の高揚

- ・職群班の意識高揚のため10月のボランティア活動へ参加するとともに、安全作業に関する情報提供等により意識の共有を図った。
- ・技術後継者育成のための研修会・講習会を実施した(剪定・刈り払い)。
- ・作業班ごとの会議を設け、班の課題検討や会員相互の交流を図った。

2 安全の徹底と適正就業の推進

(1) 安全確保と事故防止に向けた安全パトロールの実施と指導強化

安全対策委員会による安全パトロールを毎月実施し、安全作業への意識を高めた。また、今年度も告知なしでのパトロールを実施した。

(2) 安全意識の高揚と自主点検・自己管理の徹底

安全講習会を年間 2 回実施し、夏期 34 人、冬期 48 人の参加があった。その際には消火・避難訓練や交通安全についての講話及び事故要因分析や危険体験事例発表などを行い、安全就業に対する意識を高めた。

(3) 健康管理のための研修充実と健康診断受診の奨励

安全講習会時に健康管理講座(特に熱中症)を実施し、健康への意識を高めた。

(4) 入会時や入職時及び経験年数に応じた教育・各種研修の実施

入会説明会を毎月 2 回実施し 135 人の参加があった。また、派遣会員に対しては計画的に研修を行い 18 人の受講があった。

(5) 事故の要因の分析・検証、及びその結果の周知体制の強化

安全対策委員会及び安全講習会において事故の状況報告や原因の分析を行うとともに、会員向けの機関紙において事故の発生状況を報告し、安全就業に関する意識の高揚を図った。

3 就業機会の拡大と会員力の向上

年間契約目標金額 356,250 千円に対し実績は 368,128 千円で、達成率は 103.3%となった。

(1) 会員のスキルアップ、及び作業技術者の育成と技術の継承を図るための、ニーズに合った研修・講座の開催

・スマホ講座 2 回(7 月・1 月)、初級向け剪定技能講習会(2 月)、刈り払い機安全取扱講習会(4 月)を実施し、会員の技術取得を行った。

(2) 地域のイベントや地元メディア等を活用したセンター事業の PR

各地域においてボランティア清掃等の活動を行い、地域貢献を PR した。市内 6 地域で実施し、延べ 112 人が参加した。

(3) 人手不足分野や今後需要が見込まれる分野における研修の充実及び企業等との連携

・公共施設等へ継続して就業を希望する会員へ、実習体験研修を行った。
・会員不足が懸念される剪定作業、刈り払い作業における技能講習会を実施し、会員の技術向上を図った。

(4) シニア層を対象とした就労サポート機能の強化

会員向けの求人情報端末において掲載件数の充実を図った。

4 会員の拡大

年度末目標会員数 779 人に対し実績は 737 人で、達成率は 94.6%となった。

(1) 市民を対象とした魅力ある講習会の開催による会員確保

会員及び市民向けにスマホ講座、女性健康エクササイズ講座、初級者向け剪定講習会、刈り払い機作業安全衛生教育を実施し、会員拡大を図った。

(2) 身近なメディア及び会員のアイデアを活用した PR の展開

・会員が企画・出演した CM ビデオをケーブル TV で継続して放映した。

- ・センター行事（ボランティア活動や門松寄贈等）が新聞及び TV 等にて取り上げられ、活動を紹介することができた。
 - ・市役所が使用する封筒への広告掲載を実施し、入会者獲得を図った。
- (3) 会員による積極的な入会促進（一人一会員）
入会説明会参加者のアンケートでは、会員からの声掛けや仕事ぶりを見たというのが大きな動機付けとなっており、会員へは随時呼びかけをお願いした。
- (4) 女性会員及び夫婦会員の増へ向けた展開
女性会員増と女性会員活性化施策として、女性協議会を設置し様々な活動を行った。
・女性会員を前面に出した CM を行い、女性をターゲットとした広報を展開した。
・年間女性入会数 37 人、年度末女性会員数 251 人、夫婦会員数 35 組
- (5) 高齢者雇用安定法改正に伴う会員確保の充実
入会年齢が高齢化する中、センターは働くだけではなく高齢者の充実した日々の活動や健康維持の面においても魅力があることを意識した広報を行った。

5 シルバー派遣事業の確立

- (1) 派遣先との連絡調整を深め、派遣事業への理解を求める
同一労働・同一賃金に伴う待遇の調整や、派遣会員としてのスキルアップへ向けた研修を実施した。
- (2) 労働契約法等への対応
フリーランス新法の法制化に伴い、契約方法の見直しや会員の労働環境の整備についての情報収集を行った。

6 社会奉仕活動等

- (1) 就業やボランティア活動を通じて地域社会に貢献し、生きがいや喜びにつなげる
10 月には市内公園 2 か所（81 人参加）、春期には各地域班が主体となつてのボランティア活動（112 人参加）を実施し、地域への貢献を PR するとともに会員間の交流を図った。
- (2) 互助会と連携した事業（行事）の検討
互助会各種イベントにおいて広報や実施の協力をし、会員の充実した活動を支援した。
- (3) 環境事業（剪定くず処理・リサイクル等）に関わる調査研究の継続
剪定くず等の再利用化は今年度で終了したが、新たに衣類等のリサイクル活動へ参加し環境に配慮した事業運営を行った。